

令和6年度

事業計画書及び収支予算書

公益財団法人 千歳青少年教育財団

目 次

◆ 令和6年度事業計画書	1
I 公益目的事業		
◇ 教育事業	2
1 学習講座開設事業	2
2 社会教育関連事業	3
3 教育機関支援事業	4
◇ 水族館管理運営事業	5
1 サケのふるさと千歳水族館管理運営事業	5
2 年間パスポート会員の募集	8
3 情報提供活動	8
◆ 令和6年度収支予算書	9
◇ 収支予算書	10
◇ 正味財産増減予算書	16
◆ 令和6年度資金計画書	21

令和6年度事業計画書

事業計画書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日)

I 公益目的事業

◇ 教育事業

定款第4条第1項第1号及び第2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

1 学習講座開設事業

(1) 千歳水族館学習事業

ア サーモン・ツアー

小学校高学年から中学生までを対象とし、千歳川サケ遡上観察やサケの調理体験など、千歳水族館においてサケシーズンならではの宿泊学習を行う。

(10月上旬、1泊2日)

イ サケふるセミナー

土・日・祝日を中心に、小学生や親子などの一般来館者を対象にサケの採卵などの体験プログラムやサケ皮クラフトなどの工作プログラムのほか、外部機関と連携した教室を開催する。

(2) ジュニア・リーダー活動事業

ア ジュニア・リーダー講習会

子どもたちによる子ども会活動の活性化を目指し、その中心的な役割を果たすジュニア・リーダーの養成講習会を初級・中級・上級の3段階に分けて実施する。

また、千歳水族館や魚についての講習会も行い、水族館学習支援活動に必要な基礎知識を学ぶ。(4月、9月に前期2回、12月、2月に後期2回の合計4回)

イ ジュニア・リーダー交流会

講習会以外の場でジュニア・リーダーが参加して、シニア・リーダーと一緒に子どもを対象としたイベント等の実施に携わることにより、シニア・リーダーの活動内容について学び、リーダーとしての意識を高める。(10月下旬)

(3) シニア・リーダー活動事業

ア 石狩管内地域子ども会シニア・リーダー研修会

石狩管内子ども会シニア・リーダー及びシニア・リーダーに準じる会員が一堂に会し、レクリエーションの技術研修や活動の情報交換をしながら子ども会活動を推進、支援するリーダーの資質向上を目指す。(9月中旬)

イ シニア・リーダー研修会

子ども会活動及び千歳水族館学習活動を支援するシニア・リーダーが、事業の企画・立案・運営方法の研修を通して、他団体も含めた様々な事業への支援活動を担える能力の育成を図る。(3月中旬)

ウ シニア・リーダー交流会

道内各地のシニア・リーダーとの交流・情報交換を行うことにより、リーダー間のネットワークの構築と相互の研鑽を図る。（不定期）

エ 千歳水族館学習事業・社会教育関連事業・町内会事業への支援活動

シニア・リーダー活動で養った経験・資質を活かして、青少年育成に係わる様々な事業への支援活動を積極的に行う。（随時）

(4) 夏休み自然体験教室 ～日高編～

小学校高学年から中学生までを対象とし、「千歳水族館」または「日高青少年自然の家」に宿泊して自然体験教室を行う。令和6年度は日高青少年自然の家に宿泊し、自然体験を通して、団体生活の規律を身に付ける。（夏休み期間中、1泊2日）

(5) 体験学習

小学生及びその保護者を対象に、千歳市内の遺跡見学や特産品を収穫する体験を通して、地域への関心、知識を深める。
(6月下旬)

(6) 冬休み体験教室

冬休み期間中、小学4年生から中学生までを対象に、日高での集団宿泊生活や冬季ならではの体験や社会見学等を通して、団体生活の規律を身に付ける。（1月上旬、2泊3日）

2 社会教育関連事業

(1) 千歳青少年育成推進員の設置

地域における児童の健全育成活動及び子ども会等青少年育成活動の推進を図るため、千歳青少年育成推進員を委嘱し、社会教育関連事業や地域の子どものための活動に協力する。（委嘱期間2年・令和6年度は委嘱1年目）

(2) ラジオ体操講習会（千歳市子ども会育成連合会共催事業）

夏休みの前に正しいラジオ体操の指導方法を学ぶため、町内会等の指導者、ラジオ体操に興味のある一般の方を対象に、NHKラジオ・テレビ体操の講師を迎えて講習会を開催する。（7月上旬）

(3) 緑の村キャンプ大会（千歳市子ども会育成連合会共催事業）

野外活動や宿泊生活を通して、協力・助け合いの精神を養うとともに、地域や学校を越えた子ども同士の交流を深めるため、小学校高学年から中学生までを対象に青葉公園ピクニック広場において開催するとともに、町内会主催のキャンプに対し協力・支援を行う。（7月中旬～下旬）

(4) ちとせの子どもクリスマスの集い（千歳市子ども会育成連合会共催事業）

小中学生を対象に、クリスマスにちなんだ創作活動やレクリエーションを通して、相互の親睦を深める。（12月上旬）

(5) ちとせっ子雪あそび（千歳市子ども会育成連合会共催事業）

冬期間運動不足になりがちな子どもたちの体力向上・健康増進を図るため、小中学生を対象に、道の駅サーモンパーク千歳のイベント広場を中心に屋外で雪を利用したレクリエーションを行う。（2月上旬）

3 教育機関支援事業

(1) 総合的な学習などへの協力

小中学校の「総合的な学習」に対応し、「サケのふ化観察学習」や「放流体験」「人工採卵・受精体験」「水生生物観察」「アイヌ文化学習」など、地域特性を活かした多様な学習活動に積極的に協力するとともに、市内小中学校からの要請に応じて学芸員が出前講座に対応するなど、学校との連携を深める。

(2) 職業体験への協力

小中学校の職業体験、専門学校生や、大学生のインターンシップ、博物館相当施設として学芸員実習などを受け入れ、各種教育機関に幅広く研修の場を提供する。

(3) 「サケ稚魚による子どもたちの交流事業」への協力

千歳中央ライオンズクラブが主催する市内小学生と岡山市の小学生とのサケ稚魚の飼育・放流を仲立ちとした交流事業に協力する。(1月～3月末)

(4) 各種生涯学習関連事業への協力

千歳市内や札幌市などで開催される各種生涯学習関連事業に協力し、体験メニューなどを盛り込んだブースを出展する。

◇ 水族館管理運営事業

定款第4条第1項第3号に掲げる事業は、次の計画により行う。

1 サケのふるさと千歳水族館管理運営事業

(1) 常設展示

ア 水槽展示

水量266トンの大水槽をはじめとする大小約40基の水槽で、淡水・汽水域に生息する水生生物約100種を展示する。サケ科魚類だけでなく、国内外の淡水魚類や水生植物、哺乳類のアメリカミンク、鳥類のカイツブリ、爬虫・両生類、水生昆虫など、河川生態系を構成する生物種を中心に幅広く展示し、生物の多様性や水辺生物への興味関心を高める。

イ 体験コーナー

ウグイ属とチョウザメ類のタッチプールや、ドクターフィッシュ（ガラ・ルファ）体験水槽、開放的なカイツブリのドーナツ型流水水槽など、来館者が水辺の生き物と接し、より身近に感じることができる場を設ける。

ウ 大型スクリーン解説映像

およそ100インチの大型スクリーンを用い、千歳川を中心に撮影したサケの生活史や人工ふ化放流事業などについて、約5分間の映像で紹介する。映像は2ブースで上映し、日本語だけでなく英語の音声解説と繁体字、簡体字の字幕により、海外の来館者にも対応する。

エ 水中観察ゾーン

千歳川の護岸を利用した水中観察施設において、千歳川の生き物やその営み、四季折々の環境の変化などを観察する。また、DVDやコンピュータを用いた映像機器などにより、サケの生態や水中観察窓の生物などに関する解説コーナーを設置し、千歳川の魅力を伝え、生物や環境保全へのより深い理解を図る。

オ なるほど!?サーモンルーム（展示・学習ゾーン）

千歳におけるサケと人との関わりについて、サケ漁の歴史や資源増加を図るための人工ふ化放流事業、また千歳アイヌの歴史や文化などを中心にパネルや映像を使って解説する。また、日本各地の伝統的なサケ料理法や様々なサケ料理のレシピも紹介する。

カ 学習室

液晶プロジェクターや50インチプラズマディスプレイなどの映像機器を利用し、採卵実習などの各種体験教室の場として、また幼稚園や学校団体の見学時の講話や質問対応、雨天時の昼食場所など、幅広い活用を図っていく。

(2) 企画展示

ア 企画展示

館内のスロープを利用し、常設展示とは異なる様々な生物や環境問題などをテーマとした展示や、写真、絵画等幅広い分野にわたる作品展などを開催し、新たな話題を提供することでリピーターの創出を図る。

夏季企画展は、開館 30 周年記念企画として「沖縄海中散歩」をテーマに開催。沖縄の多様な海洋環境とそれぞれの環境に生息する生き物の展示を中心に、北海道とは大きく異なる沖縄の自然や文化について紹介する。

イ サケの成長過程による季節展示

親魚が河川遡上する秋季にはサケやカラフトマス、サクラマスなどサケ属の成熟親魚を、また卵からふ化に至る冬季には、卵の発生過程やふ化、仔魚から稚魚への成長の様子など、各季節の成長段階に合わせた展示を行う。

(3) 各種体験学習及びイベント

ア 水族館裏方探検隊（バックヤードツアー）

希望する学校団体やバックツアーなどを対象に、水族館の裏側探検やエサやり体験、また季節によっては展示水槽へのサケ搬入体験などを実施し、水族館についての理解を深める。

イ サケ皮クラフト工房

サケ皮を使った靴のミニチュアやしおりなどの製作を通じ、サケを無駄なく利用したアイヌ文化の一端に触れる。

ウ サケ稚魚放流体験

サケの回遊ルートやその生態の解説とともに、実際にサケ稚魚の放流を体験し、サケ及び人工ふ化放流事業への理解を深める。（3月～5月）

エ 季節のイベント・体験

ゴールデンウィーク、ハロウィン、鮭の日、クリスマス、お正月などの季節行事に合わせた特別展示を行うとともに、より楽しみながら見学できる参加型のイベントを実施する。

オ 飼育係ちょこっと体験

冬休みや春休み、土・日・祝日などを中心に、有料でエサやり体験やバックヤードツアーなど、水族館の飼育業務に関する体験を行う。

カ そのサーモンどこから来たの？

回転寿司の北々亭千歳店と協力し、寿司ネタを通してサケの生態や食糧資源としての現状を学ぶ。

キ ホタルのタベ

市内に生息するヘイケボタルについて、成虫が羽化する7月下旬から8月上旬の期間限定で、生態や生息状況等の解説とともに、飼育下における発光の様子などを観察する。

ク 開館 30 周年イベント

9 月 10 日に千歳サケのふるさと館としての開館から 30 周年の記念日を迎えるにあたり、4 月から 12 月までの期間、毎月「感謝 DAY」として、来館者に対し、数量限定で記念品の贈呈や 30 年間の感謝を伝える企画などを開催する。

ケ 入館者 600 万人達成セレモニー

春から夏頃にかけて見込まれる、開館以来累計 600 万人の入館者に合わせ、記念品贈呈等のセレモニーを開催する。

(4) 入館者の拡大推進

入館者の拡大を図るため、館内の魚類等を含めた生体展示の充実に努め、各種企画展やイベントを開催するとともに、次の取組を実施する。

令和 6 年度入館者数の目標 : 260,000 人 (内、有料入館者 159,000 人)

ア 団体誘致活動

全国主要都市の旅行代理店等に、修学旅行、団体旅行の誘致に向けたプロモーション活動を展開する。

札幌市内を含む近隣市町の幼稚園・保育園・福祉施設等に、当館及びイベント等の PR 活動を実施する。

また、(一社)千歳観光連盟や(公社)北海道観光振興機構が実施する道外及び海外への観光プロモーションに参加する。

イ 情報媒体を利用した広告宣伝活動

Web メディアを利用したタイムリーな情報提供や、テレビ、ラジオ、雑誌などのメディアを有効利用した広告宣伝を実施するとともに、ホテル、レンタカー、観光施設等にポスターの掲示や PR パンフレットの配置を行う。

ウ 多言語システムの提供

海外からの小団体旅行 (FIT) などに対応するため、来館者がスマートフォンやタブレット等のデバイスにて QR コードを読み取ることで、展示水槽や生物について英語、繁体語、簡体語、韓国語、タイ語の多言語による解説を閲覧可能とする。また受付においては、多言語に対応した音声翻訳機を接客ツールとして利用する。

エ 音声ガイドシステムによる解説

来館者が自身のスマートフォンやタブレットで利用できる、体験型音声ガイドアプリ「Pokke (ポッケ)」の登録により、千歳市出身の声優・鈴木愛奈さんのナレーションによるサケや千歳水族館の展示生物に関する音声ガイドを無料にて提供し、水族館見学における入館者の満足度向上を図る。

オ ネットワークカメラによるライブ映像配信

入館の動機付けのため、公式ホームページにおいてリアルタイムで水中観察窓及びインディアン水車 (千歳川) の状況を配信する。

カ 市内小中学生年間パスポートの無料配布

市内小中学生の年間パスポート等の無料配布を継続し、子どもたちへの河川環境や水辺の生き物等への教育普及を図るとともに、保護者等同伴者も含めた入館者の拡大を図る。

キ 道の駅機能との連携強化

道の駅スタンプラリー帳持参者に対する優待料金の通年適用や、道の駅と水族館の両施設を回遊する取組の実施など、道の駅とのコラボ企画等の強化に努める。

ク 来館者へのサービス向上の取組

来館者の満足度向上を図るため、館内に売店を設置し、水族館のグッズやサケふるオリジナル商品などを提供する。

(5) サケのふるさと村教授会との連携

水族館のボランティア組織として、館内の案内業務や各種行事の支援を依頼している「千歳サケのふるさと村教授会」の活動を、メンバー募集や研修面などにおいてサポートし、さらなる連携強化に努める。

2 年間パスポート会員の募集

(1) 個人会員

加入日から1年間何度でも入館できるパスポートを個人に発行し、会員同伴者への団体割引料金を適用する。

年会費 : 大人・高校生 1,500円 小中学生 500円

令和6年度 個人会員 目標 : 6,000人

(2) 法人会員

加入日から1年間1回5名まで何度でも入館できるパスポートを企業・団体等に発行し、6名以上の同伴者の団体割引料金適用や、法人名を表記したプレートを水族館入口に掲示する。

年会費 : 1口 10,000円

令和6年度 法人会員 目標 : 100口

3 情報提供活動

(1) サモン君だより

館内の展示や観察窓の状況、各種イベントのお知らせなどを掲載した「サモン君だより」を毎月ホームページに掲載して情報を提供する。

(2) ホームページ及びSNSによる情報発信

公式ホームページと、Facebook、Twitter、Instagram、YouTube、LINEの各SNSに加え、Googleマップと連携したGoogleマイビジネスや無料の電子旅行雑誌「旅色」を活用し、イベントや企画展示、水中観察ゾーンの状況、サケに関するQ&Aなど様々な情報を発信する。

(3) サモンメール

インターネット接続環境をもつ希望者に対し、展示状況やイベントなどの情報をe-mailによるメールマガジンにて配信する。

令和 6 年度収支予算書

収 支 予 算 書 (総 括 表)

(令和6年4月1日から令和7年3月31日)

(単位 : 千円)

大 科 目	公益目的事業 会計	法人会計	合 計	備 考
中 科 目				
小 科 目				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	1	0	1	
② 特定資産運用収入	6	0	6	
③ 事業収入	103,771	0	103,771	
④ 会費収入	9,100	0	9,100	
⑤ 補助金等収入	143,243	12,030	155,273	
⑥ 雑収入	51	0	51	
事業活動収入 計 (A)	256,172	12,030	268,202	
2 事業活動支出				
① 事業費支出	258,748	0	258,748	
② 管理費支出	0	11,934	11,934	
事業活動支出 計 (B)	258,748	11,934	270,682	
事業活動収支差額 (A) - (B)	△2,576	96	△2,480	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	41,855	0	41,855	
投資活動収入 計 (C)	41,855	0	41,855	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	38,949	96	39,045	
② 固定資産取得支出	330	0	330	
投資活動支出 計 (D)	39,279	96	39,375	
投資活動収支差額 (C) - (D)	2,576	△96	2,480	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入 計 (E)	0	0	0	
2 財務活動支出				
① その他財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出 計 (F)	0	0	0	
財務活動収支差額 (E) - (F)	0	0	0	
当 期 収 支 差 額	0	0	0	

収 支 予 算 書（公益目的事業会計）

（令和6年4月1日から令和7年3月31日）

（単位：千円）

大 科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
① 基本財産運用収入	1	1	0	
1 基本財産利息収入	1	1	0	
② 特定資産運用収入	6	6	0	
1 特定資産利息収入	6	6	0	
③ 事業収入	103,771	96,947	6,824	
1 教育事業収入	991	947	44	参加者負担金
2 水族館管理運営事業収入	101,280	94,500	6,780	水族館入館料外
3 体験料収入	1,500	1,500	0	餌やり体験料外
④ 会費収入	9,100	9,100	0	
1 個人会員会費収入	8,100	8,100	0	
2 法人会員会費収入	1,000	1,000	0	
⑤ 補助金等収入	143,243	149,848	△6,605	
1 教育事業補助金収入	22,894	24,705	△1,811	
2 水族館管理運営事業補助金収入	81,400	81,245	155	
3 特定資産取得補助金収入	38,949	43,898	△4,949	
⑥ 雑収入	51	51	0	
1 運用財産利息収入	1	1	0	
2 雑収入	50	50	0	
事業活動収入 計（A）	256,172	255,953	219	

(単位：千円)

大 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
2 事業活動支出				
① 事業費支出	258,748	234,035	24,713	
1 教育事業費支出	23,886	25,653	△1,767	
役員報酬支出	396	393	3	教育事業費支出の説明 人件費 17,681 車両リース等経費 923 サーモンツアー経費 96 サケふるセミナー経費 55 ジュニア・シニアリーダー講習会経費 923 夏休み自然体験教室経費 385 体験学習経費 173 冬休み体験教室経費 714 青少年育成推進員経費 902 緑の村キャンプ経費 911 ちとせの子どもクリスマスの集い経費 96 ちとせっ子雪あそび経費 116 子ども会関係経費 455 その他経費 456
給料手当支出	14,546	16,238	△1,692	
福利厚生費支出	2,739	3,009	△270	
報償費支出	1,614	1,614	0	
旅費交通費支出	141	93	48	
通信運搬費支出	124	124	0	
消耗品費支出	828	839	△11	
印刷製本費支出	44	44	0	
光熱水費支出	42	42	0	
使用料及び賃借料支出	983	843	140	
車両経費支出	923	923	0	
保険料支出	134	168	△34	
手数料支出	4	4	0	
食糧費支出	758	717	41	
負担金支出	541	533	8	
雑支出	69	69	0	
2 水族館管理運営事業費支出	234,862	208,382	26,480	
役員報酬支出	1,187	1,179	8	水族館管理運営事業費支出の説明 人件費 82,088 施設維持管理経費 53,026 宣伝活動費 18,633 租税公課 10,148 クーポン券等手数料 2,163 展示魚収集飼育経費 3,610 入場券印刷経費 1,299 車両リース等経費 2,465 イベント開催経費 9,448 電話郵便等通信費 939 電気・機械設備等修繕費 45,705 調査研究費 443 その他経費 4,895
給料手当支出	66,121	62,524	3,597	
賃金支出	2,033	1,523	510	
福利厚生費支出	12,747	11,913	834	
会議費支出	60	60	0	
旅費交通費支出	2,914	2,879	35	
通信運搬費支出	1,083	1,083	0	
備品費支出	281	391	△110	
消耗品費支出	9,246	8,368	878	
修繕費支出	45,705	23,705	22,000	
印刷製本費支出	855	687	168	

(単位：千円)

大 科 目	予 算 額	前 年 度 予 算 額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
光熱水費支出	29,898	37,922	△8,024	
使用料及び賃借料支出	2,699	2,782	△83	
車両経費支出	2,465	2,472	△7	
保険料支出	2,721	2,134	587	
手数料支出	2,163	1,763	400	
諸謝金支出	356	356	0	
交際費支出	50	50	0	
食糧費支出	50	50	0	
宣伝広告費支出	13,369	12,081	1,288	
イベント費支出	9,448	4,088	5,360	
委託料支出	17,198	16,522	676	
原材料費支出	330	330	0	
租税公課支出	10,148	11,785	△1,637	
負担金支出	1,233	1,233	0	
雑支出	502	502	0	
事業活動支出計 (B)	258,748	234,035	24,713	
事業活動収支差額 (A) - (B)	△2,576	21,918	△24,494	

(単位：千円)

大 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
Ⅱ 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	41,855	40,100	1,755	
1 減価償却引当資産取崩収入	0	16,800	△16,800	
2 修繕料積立資産取崩収入	41,855	23,300	18,555	
投資活動収入 計 (C)	41,855	40,100	1,755	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	38,949	43,898	△4,949	
1 退職給付引当資産取得支出	1,949	1,898	51	
2 減価償却引当資産取得支出	1,000	18,000	△17,000	
3 修繕料積立資産取得支出	36,000	24,000	12,000	
② 固定資産取得支出	330	18,120	△17,790	
1 建物付属設備購入支出	0	5,390	△5,390	
2 機械装置購入支出	0	12,210	△12,210	
3 什器・備品購入支出	330	520	△190	
投資活動支出 計 (D)	39,279	62,018	△22,739	
投資活動収支差額 (C) - (D)	2,576	△21,918	24,494	
Ⅲ 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入 計 (E)	0	0	0	
2 財務活動支出				
財務活動支出 計 (F)	0	0	0	
財務活動収支差額 (E) - (F)	0	0	0	
当 期 収 支 差 額	0	0	0	

収 支 予 算 書 (法人会計)

(令和6年4月1日から令和7年3月31日)

(単位：千円)

大 科 目	予算額	前年度 予算額	増△減額	備 考
中 科 目				
小 科 目				
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
⑤ 補助金等収入	12,030	12,474	△444	
1 管理費補助金収入	11,934	12,367	△433	
2 特定資産取得補助金収入	96	107	△11	
事業活動収入 計 (A)	12,030	12,474	△444	
2 事業活動支出				
② 管理費支出	11,934	12,367	△433	
1 一般管理費支出	11,934	12,367	△433	
役員報酬支出	3,365	3,349	16	一般管理費支出の説明 人件費 8,397 光熱水費等施設管理費 1,703 財務会計システムリース料 641 税理士報酬等経費 596 その他経費 597
給料手当支出	3,914	3,855	59	
福利厚生費支出	1,118	1,097	21	
会議費支出	20	20	0	
通信運搬費支出	23	23	0	
消耗品費支出	55	55	0	
光熱水費支出	1,703	2,179	△476	
使用料及び賃借料支出	641	729	△88	
保険料支出	154	119	35	
諸謝金支出	596	596	0	
租税公課支出	332	332	0	
雑支出	13	13	0	
事業活動支出 計 (B)	11,934	12,367	△433	
事業活動収支差額 (A) - (B)	96	107	△11	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
投資活動収入 計 (C)	0	0	0	
2 投資活動支出				
① 特定資産取得支出	96	107	△11	
1 退職給付引当資産取得支出	96	107	△11	
投資活動支出 計 (D)	96	107	△11	
投資活動収支差額 (C) - (D)	△96	△107	11	
当期収支差額	0	0	0	

正味財産増減予算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日)

○ 統括表

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増△減額	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益	1	1	0	
基本財産受取利息	1	1	0	
② 特定資産運用益	6	6	0	
特定資産受取利息	6	6	0	
③ 受取会費	9,100	9,100	0	
個人会員会費収益	8,100	8,100	0	
法人会員会費収益	1,000	1,000	0	
④ 事業収益	103,771	96,947	6,824	
教育事業収益	991	947	44	
水族館管理運営事業収益	101,280	94,500	6,780	
体験料収益	1,500	1,500	0	
⑤ 受取補助金等	172,808	173,140	△332	
教育事業補助金	22,894	24,705	△1,811	
水族館管理運営事業補助金	81,400	81,245	155	
管理費補助金	11,934	12,367	△433	
特定資産取得補助金	2,045	2,005	40	
受取補助金等振替額	54,535	52,818	1,717	
⑥ 雑収益	51	51	0	
受取利息	1	1	0	
雑収益	50	50	0	
経常収益計	285,737	279,245	6,492	
(2) 経常費用				
① 事業費	289,854	267,063	22,791	
役員報酬	1,583	1,572	11	
給料手当	80,667	78,762	1,905	
臨時雇賃金	2,033	1,523	510	
退職給付費用	1,949	1,898	51	
福利厚生費	15,486	14,922	564	
報償費	1,614	1,614	0	
会議費	60	60	0	
旅費交通費	3,055	2,972	83	
通信運搬費	1,207	1,207	0	
減価償却費	29,157	31,130	△1,973	
備品費	281	391	△110	
消耗品費	10,074	9,207	867	
修繕費	45,705	23,705	22,000	
印刷製本費	899	731	168	
光熱水費	29,940	37,964	△8,024	
使用料及び賃借料	3,682	3,625	57	

(単位:千円)

科 目	予算額	前年度予算額	増△減額	備 考
車両経費	3,388	3,395	△7	
保険料	2,855	2,302	553	
手数料	2,167	1,767	400	
諸謝金	356	356	0	
交際費	50	50	0	
食糧費	808	767	41	
宣伝広告費	13,369	12,081	1,288	
イベント費	9,448	4,088	5,360	
委託料	17,198	16,522	676	
原材料費	330	330	0	
租税公課	10,148	11,785	△1,637	
負担金	1,774	1,766	8	
雑費	571	571	0	
② 管理費	12,496	12,961	△465	
役員報酬	3,365	3,349	16	
給料手当	3,914	3,855	59	
退職給付費用	96	107	△11	
福利厚生費	1,118	1,097	21	
会議費	20	20	0	
通信運搬費	23	23	0	
減価償却費	466	487	△21	
消耗品費	55	55	0	
光熱水費	1,703	2,179	△476	
使用料及び賃借料	641	729	△88	
保険料	154	119	35	
諸謝金	596	596	0	
租税公課	332	332	0	
雑費	13	13	0	
経常費用計	302,350	280,024	22,326	
当期経常増減額	△ 16,613	△ 779	△ 15,834	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
固定資産除却損	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 16,613	△ 779	△ 15,834	
一般正味財産期首残高	229,849	245,666	△ 15,817	
一般正味財産期末残高	213,236	244,887	△ 31,651	
II 指定正味財産増減の部				
受取地方補助金	37,000	42,000	△ 5,000	
一般正味財産への振替額	54,535	52,818	1,717	
当期指定正味財産増減額	△ 17,535	△ 10,818	△ 6,717	
指定正味財産期首残高	263,877	261,423	2,454	
指定正味財産期末残高	246,342	250,605	△ 4,263	
III 正味財産期末残高	459,578	495,492	△ 35,914	

正味財産増減予算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日)

○ 会計区分表

(単位:千円)

科 目	予 算 額			前年度 予算額	増△減額	備 考
	公益目的 事業会計	法人会計	合 計			
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
① 基本財産運用益	1	0	1	1	0	
基本財産受取利息	1		1	1	0	
② 特定資産運用益	6	0	6	6	0	
特定資産受取利息	6		6	6	0	
③ 受取会費	9,100	0	9,100	9,100	0	
個人会員会費収益	8,100	0	8,100	8,100	0	
法人会員会費収益	1,000	0	1,000	1,000	0	
④ 事業収益	103,771	0	103,771	96,947	6,824	
教育事業収益	991	0	991	947	44	
水族館管理運営事業収益	101,280	0	101,280	94,500	6,780	
体験料収益	1,500	0	1,500	1,500	0	
⑤ 受取補助金等	160,778	12,030	172,808	173,140	△332	
教育事業補助金	22,894	0	22,894	24,705	△1,811	
水族館管理運営事業補助金	81,400	0	81,400	81,245	155	
管理費補助金	0	11,934	11,934	12,367	△433	
特定資産取得補助金	1,949	96	2,045	2,005	40	
受取補助金等振替額	54,535	0	54,535	52,818	1,717	
⑥ 雑収益	51	0	51	51	0	
受取利息	1	0	1	1	0	
雑収益	50	0	50	50	0	
経常収益計	273,707	12,030	285,737	279,245	6,492	
(2) 経常費用						
① 事業費	289,854	0	289,854	267,063	22,791	
役員報酬	1,583	0	1,583	1,572	11	
給料手当	80,667	0	80,667	78,762	1,905	
臨時雇賃金	2,033	0	2,033	1,523	510	
退職給付費用	1,949	0	1,949	1,898	51	
福利厚生費	15,486	0	15,486	14,922	564	
報償費	1,614	0	1,614	1,614	0	
会議費	60	0	60	60	0	
旅費交通費	3,055	0	3,055	2,972	83	
通信運搬費	1,207	0	1,207	1,207	0	
減価償却費	29,157	0	29,157	31,130	△1,973	
備品費	281	0	281	391	△110	
消耗品費	10,074	0	10,074	9,207	867	
修繕費	45,705	0	45,705	23,705	22,000	
印刷製本費	899	0	899	731	168	
光熱水費	29,940	0	29,940	37,964	△8,024	
使用料及び賃借料	3,682	0	3,682	3,625	57	

(単位:千円)

科 目	予 算 額			前年度 予算額	増△減額	備 考
	公益目的 事業会計	法人会計	合 計			
車両経費	3,388	0	3,388	3,395	△7	
保険料	2,855	0	2,855	2,302	553	
手数料	2,167	0	2,167	1,767	400	
諸謝金	356	0	356	356	0	
交際費	50	0	50	50	0	
食糧費	808	0	808	767	41	
宣伝広告費	13,369	0	13,369	12,081	1,288	
イベント費	9,448	0	9,448	4,088	5,360	
委託料	17,198	0	17,198	16,522	676	
原材料費	330	0	330	330	0	
租税公課	10,148	0	10,148	11,785	△1,637	
負担金	1,774	0	1,774	1,766	8	
雑費	571	0	571	571	0	
② 管理費	0	12,496	12,496	12,961	△465	
役員報酬	0	3,365	3,365	3,349	16	
給料手当	0	3,914	3,914	3,855	59	
退職給付費用	0	96	96	107	△11	
福利厚生費	0	1,118	1,118	1,097	21	
会議費	0	20	20	20	0	
通信運搬費	0	23	23	23	0	
減価償却費	0	466	466	487	△21	
消耗品費	0	55	55	55	0	
光熱水費	0	1,703	1,703	2,179	△476	
使用料及び賃借料	0	641	641	729	△88	
保険料	0	154	154	119	35	
諸謝金	0	596	596	596	0	
租税公課	0	332	332	332	0	
雑費	0	13	13	13	0	
経常費用計	289,854	12,496	302,350	280,024	22,326	
当期経常増減額	△ 16,147	△ 466	△ 16,613	△ 779	△ 15,834	
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	
固定資産除却損	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 16,147	△ 466	△ 16,613	△ 779	△ 15,834	
一般正味財産期首残高	—	—	229,849	245,666	△ 15,817	
一般正味財産期末残高	—	—	213,236	244,887	△ 31,651	
Ⅱ 指定正味財産増減の部						
受取地方補助金	37,000	0	37,000	42,000	△ 5,000	
一般正味財産への振替額	54,535	0	54,535	52,818	1,717	
当期指定正味財産増減額	△ 17,535	0	△ 17,535	△ 10,818	△ 6,717	
指定正味財産期首残高	263,877	0	263,877	261,423	2,454	
指定正味財産期末残高	246,342	0	246,342	250,605	△ 4,263	
Ⅲ 正味財産期末残高	—	—	459,578	495,492	△ 35,914	

令和6年度 資金計画書

(単位：千円)

受入資金		支払資金	
区 分	受入予定額	区 分	支払予定額
基本財産運用収入	1	事業費支出	228,788
特定資産運用収入	6	管理費支出	11,894
事業収入	101,471	特定資産取得支出	39,045
会費収入	9,100	固定資産取得支出	330
補助金等収入	155,273	未払金	30,000
雑収入	51	預り金	12,000
特定資産取崩収入	41,855		
未収金	2,300		
預り金	12,000		
合 計	322,057	合 計	322,057
		差 引	0